

地域を再生する地域通貨

世界恐慌が登場させた 地域通貨

一九二九年一月二四日（木曜）にゼネラルモーターズの株価の大幅な下落を発端に、アメリカで株式の暴落が発生し、「暗黒の木曜日」と名付けられる恐慌となった。これは証券の下落だけではなく経済全般に影響し、さらにアメリカ国内だけではなくアメリカ経済に依存していた世界各国の経済にも波及、ブラジルやボリビアなど南米諸国、さらにはヨーロッパの国々にも経済破綻をもたらす世界恐慌に拡大していった。

その回復が見通せない一九三二年七月、オーストリアの人口約五〇〇〇人の地方都市ヴェルグルのM・ウンターグッゲンベルガー町長が、町内でしか通用しない「労働証

明書」という紙幣を発行して町民に配布した。これは金額の1%に相当するスタンプを毎月添付しなければ使用できない通貨で、貯蓄しておくことと減価する仕組みである。そこで町民が納税などに率先して使用した結果、経済活動が回復し、一年強で失業問題が解決した。

残念ながら、通貨の発行は国家の専権事項であるとオーストリア政府が町長を起訴して「労働証明書」は回収されてしまったが、これが有名な地域通貨の事例である。地域で創造された価値が外部に流出するのではなく、その価値が地域内部で循環して地域の発展に寄与するという理屈である。これを現代に再現したのが地域通貨であり、有名な事例は一九九一年にアメリカのイサカという地方都市に登場した「イサカア

ワー」である。

地域通貨が復活させた 地域経済

イサカはアメリカ東部の人口三万人の地方都市で、コーネル大学が存在することで有名である。そこに登場した「イサカアワー」の発想の原点は、一九世紀初頭にスコットランドで紡績工場を創業したR・オウエンの業績である。オウエンは工場です仕事をする人々の住居や学校や福利施設まで用意した理想社会ニューラナークを運営し、報酬は一般の通貨と共にニューラナーク内部のみで通用する地域通貨で支払われていた。

この事例を参考に、大学教授であったP・グローヴァーが不況からの回復手段として、当時の平均時給製造する企業には恩恵があるにしても、その流通の末端を担当している地域の商店などは素通りされてしまうため、地域社会にとって痛手になるだけではなく、行政にとつても税収の減少となり、地域の維持が困難になる。実際、国内の卸売小売の事業所数は最大の一九八二年の二一五万店から二〇一六年には一三六万店と六割に減少し、販売金額も最大の一九九一年の七二四兆円から五八一兆円と八割に減少している。

東京大学名誉教授
つきお よしお
月尾嘉男



昭和一七（一九四二）年生まれ。東京大学工学部卒業。工学博士。コンピュータ・グラフィックス、人工知能、仮想現実、メディア政策等を研究する。とともに、全国各地で私塾を主宰し、地域の有志と共に環境保護や地域計画に取り組む。

一〇ドルを「アワー」という単位にし、地域のみで通用する通貨を発行したのが「イサカアワー」である。当初は地域の約五〇〇の商店が対応し、数千の住民が参加して話題になった。その影響は日本にも波及し、二〇〇五年には全国で約三〇〇の地域通貨が発行され、最近では一九〇程度に減少しているものも存在している。

順調な事例を紹介すると、岐阜の飛騨高山地域を基盤とする飛騨信用組合が域内経済を元気にするため二〇一七年に発行した「さるぼぼコイン」がある。金融機関の預金からスマートフォンに資金を移動し、地域の二〇〇〇店近い加入商店で買物に利用できる。一般の商品やサービスを購入できるのは当然であるが、地域通貨でしか購入できない特製の春慶塗工芸品や有名な人物による街並み案内という商品もあり、人気となっている。

埼玉県深谷市は特産のネギの名前を借用した「ネギー」という地域通貨を二〇一九年から発行している。

地域の役割を 再考する時代

スマートフォンか専用カードに資金を移動しておくと、市内の八〇〇強の商店で買物ができる仕組みである。深谷は人口一四万人の都市であるが、長期予測では全体の人口も生産年齢人口も減少し、それに比例して経済も縮小していく。そのため、市民は当然として外部の人々の関心の対象になる地域をめざして開発された。

現在、インターネットで検索すれば国内だけではなく世界の膨大な商品やサービスを発見して簡単に注文でき、順調であれば翌日には配達されてくるし、決済も通信により一瞬で完了する。そのような便利な時代に、土地に密着した地域通貨に価値が存在するか疑問とされるかもしれない。実際、最近の家計消費支出の総額三〇〇兆円のうち、電子取引は七%の二〇兆円以上になっており、この比率は急増している。それらの金額は商品やサービスを

昨年一月に仮想通貨を商売とする世界最大の企業FTXが破綻し、負債総額は最大七兆円になり、一〇〇万人の顧客に被害が波及すると推測されている。このような世界規模の仮想経済は暗黒の木曜日だけではなく、何度も世界に破綻をもたらしてきた。それを修復したのはヴェルグルの復活が象徴する地域に根差した経済である。地域通貨だけではなく、地域企業、地域人材、地域観光、地域資源を見直すべき時代である。